

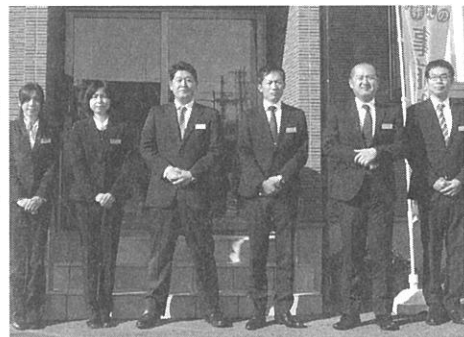
まんまんちゃん ニュース



株式会社 高田
大聖寺永町38の1
☎72-1275
第30号 2019年夏

みきおちゃんご挨拶

若葉が芽吹き、おだやかな新緑の季節を迎えました。先日、自宅の側溝(ドブ)掃除をしていた時、うっかりコンクリート蓋に足を挟まれてしまいました(涙)。足がパンパンに腫れて、革靴を履けないことに…(涙)。皆様も慣れない作業にはどうぞお気を付け下さい。さて、いよいよ平成が終わり、新元号令和となりました。テレビでは大みそかのように各地でカウントダウンがあったり、新元号を祝うまるでお祭りみtainなにぎやかさで、昭和から平成に変わったときと比べるとまったく違う印象でした。タカダではこの新しい元号になったことをきっかけとして、さらにスタッフ一同、心をひとつにし、誠心誠意皆様にサポートさせて頂く所存です。



採検チョロチョロぼくのまち～南郷町の盤持石～

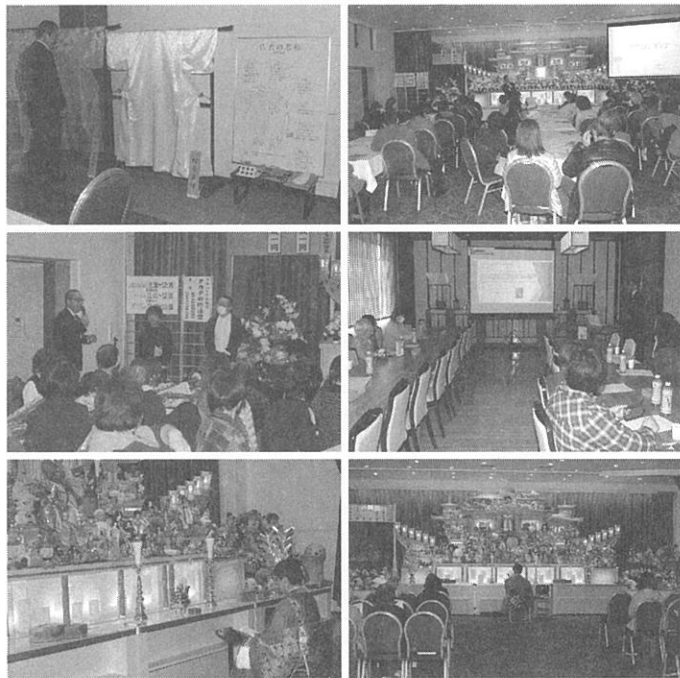
南郷町八幡神社参道脇にある大きな六つの石。石に重さが彫ってあり四斗五升(69kg)が一番軽い石です。不思議に思い、地域の古宮下さんにお話をお聞きしました。一般的には「カ石」と言い、若い衆が力比べをするものです。南郷町では昭和天皇即位の祝賀行事の一つとしてカ石行事を取り入れたそうです。昭和初期に全国で取り入れられました。その主な理由は陸海軍入隊に備えた体力向上だったそうです。米一俵の重さが60kgなので、それ以上の重さを膝上まで持ち上げられないと軍隊では苦勞あると言われたそうです。そのカ石もいつしか境内の片隅に置きっぱなしになりました。時が過ぎて平成はじめ頃、宮下さんが区長、そして氏子総代の時代に傷みの激しい神社の階段を直そうと奔走している時にカ石の存在に気が付きました。階段工事を請け負った石材屋さんの協力を得て、石に重さを彫り、参道横に安置されることになりました。カ比べの、ぼのぼのと作話を想像していましたが、予想外の戦争遺物のお話でした。なむなむ。



～終活塾を開催いたしました～

《3月16日》タカダリニューアル記念イベント
模擬納棺式、お片付けセミナー、フラワーアレンジメント教室と3部構成でしたが、いずれも多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。また当日ご入会キャンペーンでもたくさんのご入会をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

《4月20日》人形供養祭・終活塾
人形供養祭では、お人形を祭壇に飾り、お寺様の読経と皆様の御焼香を頂き丁寧に供養することができました。また終活塾では、「家族葬の豆知識」と題し、弊社葬祭ディレクターが、家族葬と一般葬の違いや家族葬のポイントなどをお話いたしました。多数のご参加をいただき感謝申し上げます。



編集後記

4月の終活塾は家族葬がテーマでしたが、ご参加頂いた皆様の疑問や不安が少しでも解消されたら、うれしいです。タカダのご相談サロンでは随時ご相談を受け付けておりますので、いつでもお気軽にご来店くださいませ。スタッフ一同お待ちしております。

ニュースレターのご感想やご質問などお気軽にご連絡下さい。
アドレス <https://www.takada-sougi.co.jp>
Fax 72-1265



友だち追加

LINE@はじめました！
友だち追加でお役立ち情報とクーポンをプレゼント！

